

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2018年 12月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2018年 12月1日発行 通巻308

新しい年を
無事故で迎えよう

1 2月号目次

・ 目 次	2
・ 1 1月理事会報告	3
・ 事故防止経験交流集会報告	5
・ 県連第1回交流山行報告	8
・ 〃 三条の湯	9
・ 〃 富津市岩山	12
・ 信越トレイル山行報告	13
・ 房総ロングハイク案内	16
・ 海外登山へのお誘い（1月）	17
・ 県連海外委員会たより	18
・ 県連たより	19
・ 1 2月・1月予定表	20

表 紙 紹 介

会のワクを超えて「楽しく交流する」を目的に、山行を実施した。第1回は、奥秩父・三条の湯宿泊のゆったり山行で2会の参加があった。はじめて会ったメンバーでの山行は、和気あいあいと楽しい山行が好評で、次回の交流山行を期待する報告が寄せられている。出来るだけ早い時期に、2回目を行い3回・4回と続いてほしい。さあ！ 次はどの会がコラボするのか？期待しています。

千葉県連 11月理事会報告

報告者：県連理事

荒井 良 (山の会「岳樺クラブ」)

千葉県連 11月理事会を実施しました。

下記の通りご報告いたします。

1. 日時 2018年11月15日(木) 19時～20時20分
2. 会場 船橋市西部公民館
3. 出席会 ちば山の会、君津ケルン山の会、茂原道標山の会、松戸山の会、東葛山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、山の会「岳樺クラブ」、かがり火山の会、岳人あびこ、まつど山翠会
役員 古瀬顧問、広木会長、鶴田副理事著、小林会計、伊東教育遭難対策委員長、菅井自然保護委員長
4. 議題・討議事項、報告等
 - 1) 各委員会報告
 - ①教遭委員会
 - ・「2018事故防止・経験交流集会」が11月10日～11日、富津市民の森にて12の山の会、40名にて開催された。全国連盟登山時報担当の取材があり「登山時報1月号」に掲載予定。なお、アンケート締切11月22日。報告先：伊藤教育遭対委員長。11月15日発送の(件名：アンケート送付)メール参照のこと。
 - ②ハイキング委員会
 - ・2020年度に向けて「房総ロングハイク」コース見直しを目的に、委員会メンバー中心で下見山行を11月8日(木)に実施した。
 - ③自然保護委員会
 - ・第17回全国登山研究集会に自然保護委員会より2名が参加した。鴨川メガソーラ建設の現状報告と建設反対署名の協力を訴えた。
11月23日(金) 24日(土) 愛知県
 - ④女性委員会
 - ・「第12回ワンコイン講習会」は12月1日(土)、西部公民館にて開催。
講師：安村淳先生。特にストックの使い方について実技指導を実施する。
 5. 千葉県連、各会代表者・県連理事合同会議について
 - ・2019年2月21日(木) 午後7時～9時 開催予定。
会計報告・2018年度重要事項の確認、次年度活動方針など。
 6. 広木会長よりの依頼事項*11月12日広木会長発の「連絡」メール参照
 - 1) 次年度の会員数の報告。11月末現在の会員数(男女別)。
報告締め切り12月5日とします。(次年度の連盟費算出の人数になります)
報告は会計担当小林さんへ。(Eメール：3401fqsr@jcom.zaq.ne.jp)

- 2) 労山カレンダーの申し込みを早急にお願いします。
 申込みは、全国事務局へ 申込後、
 東葛山の会・羽鳥県連理事に連絡の事 (hatori0227@jcom.home.ne.jp)
- 3) あじさい山の会は本年度をもって退会の予定。
7. 千葉県連第一回交流山行として11月3～4日、ちば山の会 (4名)
 千葉こまくさハイキングクラブ (3名) にて奥多摩三条の湯～天平尾根を
 実施した。
- ・各会の山行形態、楽しみ方に相違がありよい交流山行であったとの報告があった。
 - ・各会が交流山行となり得る山行計画を千葉ニュースに掲載し、賛同する会 (あるいは個人) が参加していくといった形態もありではないか。
 との意見もあった。
- ◎参考として、かがり火山の会から以下の報告があった。
 東葛地区 (松戸山の会、まつど山翠会、シリウス山の会、かがり火山の会の4会) にて2013年より年一回実施。本年で9回目を数える。幹事持ち回りとし毎回20名前後で交流山行を実施している。
8. 県連事務所のリニューアルの実施
- 1) 実施日時 2018年12月5日 (月) 午後3時より。
 - 2) 伊東教育遭対委員長の主動で実施する。会員の協力をお願いします。

以 上

◆ 第53期 会代表者・県連理事 合同会議の案内

千葉県連は、総会を2年に1回実施し、その間に会代表者・県連理事合同会議を実施します。主な議題は、会計報告と予算の承認、活動報告と重要案件等の討議を実施します。

参加者は、会代表者・県連理事・県連役員です。会代表者は複数の参加を認めますが、決議は1名とします。傍聴者の参加も歓迎します。

会員の皆様は、県連に対する要望、意見等を参加者に伝えて下さい。

(今回は、役員の改選は実施しません)

◆ 事務所リニューアルの案内

現事務所に引っ越し以来、行っていなかったリニューアルを実施します。

壁面に収納スペースをつくり、資料・書籍類を整理して使い勝手の良い事務所にしたいと思います。

現在は、文房具類は使えないボールペン・ホッチキスが散在していて、使用時にはまず使えるかどうかの確認をしています。リニューアル後は、加盟会から寄せられた、会報や記念誌、古いちばニュース等もすぐに見られ、全国連盟、県連の総会資料や集会報告、テキスト類も閲覧が出来る様になります。

リニューアル後の、整理・整頓を定期的にも実施出来る体制にも協力をいただき、千葉県連のセンターとして利用して下さい。

千葉県連盟 会長 広木 国昭

2018 事故防止・経験交流集会 開催報告

教遭委員長 伊東春正（かがりび山の会）

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨として、11月10・11日に教育遭難対策委員会主催で交流会を開催した。

今回は、富津市民の森で開催し、12の会から40名の参加があった。

1日目は、まず千葉県連の事故状況の報告をした。

最近5年間の事故発生件数は、全国平均より少ないが、女性の事故件数が男性より2倍多いのが、千葉県連の特徴である。今年は、これまで9件の事故が発生している。

全国遭難対策担当者会議の報告では、6/30,7/1の二日間の会議内容をかいつまんで報告した。

その中での2件の事故事例を取り上げて、何が問題で自分たちだったらどうするかという観点で、4つの班に分かれてディスカッションを行った。

- ・事例1：残雪期の雨飾山での滑落とビバーク
- ・事例2：心臓疾患が原因の事故

国際山岳看護師の講演では、該資格を持つ教遭委員から「山岳領域の看護活動」をテーマに講演を行った。

標高の高い診療所に来る人の80%は高山病であり、高山病の症状がでたら、すぐに下山するのが正しい処置であるという助言があった。

夕食・交流会では、場所をキャンプ場に移し、食事しながら各会の紹介を行い、特に若い会員のいる会では大いに盛り上がっていた。

2日目は事例研究発表を机上発表と実演とに分けて行った。

事例1の机上発表では、いくつもの問題点が指摘され、総じていえば経験不足、準備不足であり、残雪期とはいえ雪山は万全な計画と装備で臨むべきとの結論であった。

事例2では、日常生活での自己管理と会として心臓疾患に対する対処法の啓蒙活動が重要であるとのまとめで、山行中に発症した場合の症状の判断、意識確認、救急搬送などを寸劇しながらの発表となった。

実演は、事例に沿って実際の場面での対処方法を、教遭委員の指導で班ごとに実施した。

- ・ロープで確保しながらの下山
 - ・ツェルトによるビバーク方法
 - ・倒れた人の様態の確認
 - ・安全な場所への搬送
 - ・ヘリ救助要請と誘導
- など。

以上盛りだくさんの内容であったが、参加者の真剣な取り組みで有意義な集会となった。

今後もこのような疑似体験を繰り返し実施し、県連のレベルアップを図っていった。

<交流会開会挨拶>



<国際山岳看護師の講演>



<夕食・交流会>



<事例研究 机上発表>



〈事例研究発表・実演〉



参加者の感想（抜粋）

- ・登山は PDCA サイクルを回して、次の活動に備えるスポーツ。会派を越え、色々な意見を出し合い、補完できる作業は知的で楽しい作業。
- ・遭対協の方も、万全の準備を事前にされてきた筈。各会の幹部会員だけでなく、これからリーダーを担う方には是非とも参加して頂けるようにネゴすることが必要なことだと思った次第。
- ・各会の人の意見などを聞いたことは、非常に参考になりました。
できれば、事件事例資料を前もってメール配信していただければ助かります。
- ・小林美智子さんの講演が良かった。
自分の会の会員にも聞くチャンスがあれば良いと思います。
- ・よく準備された交流会でした。次回は参加者を増やしたいと思います。
- ・メンバーで闊達な意見を交換することが出来ました。テーマが難しく一時悩む部分もありましたが、テーマから派生した内容にも先輩方の経験や知識を享受することができ、とてもためになりました。
- ・ツェルトの使い方、傷病者の搬送の仕方など、普段の山行内では学べない事を実践的に学ぶことができとても勉強になりました。

千葉県連 第1回交流山行報告

千葉県連副理事長
鶴田 秀雄（ちば山の会）

1. 日程 2018年11月3～4日
2. 行く先 奥多摩 三条の湯～天平尾根（1泊2日）
3. 参加会 こまくさハイキングクラブ（3名） ちば山の会（4名 主催会）
4. 交通機関 公共交通機関

事前にそれぞれの会の計画書を交換し、出発時の待ち合わせ場所と時間を決めて最初から全員が行動を共にするようにした事、奥多摩駅前で簡単な自己紹介をした事以外はなにも特別なことはしていません。普段の山行と何ら変わったことはありません。山行の最後まで終始行動を共にし、自然な形で交流ができたことはとても良かったと思っています。こまくさハイキングクラブの参加者の感想にもあるようにちば山メンバーの歩き方にびっくりされるなど、実際に行動を共にして感じる事があったようで交流山行ならではのようです。

一日目の夕食前の語らいはほんとうに楽しい時間でした。参加者全員に感謝します。なお、山行の詳細については以下の参加者の感想文と山行報告を参照ください。

【こまくさ参加者感想文】

こまくさハイキングクラブ：小池・海瀬

「まずちば山の人達は歩くペースが速い。それに二時過ぎになっても何も言わないので、こちらからお昼はどうするのか聞いたら、『え？歩きながらおむすびとかバナナ食べたから特に時間は設けない』と言われこまくさ3人とも哑然。ポケットやポシェットに食べるものを入れておき、いちいちザックを下さず食べて、それで事足りるというのだ。自分の食べる物だけ持ち、荷物もその分軽くして体力の消耗を減らし、時間も節約できるし合理的な考えだ。私達は今までお昼時間も仲間とのコミュニケーションの一部で、その設定で計画を立ててきた。が、ちば山の考えにも納得できる。どちらに重点を置くか、山の形態、メンバーの力量等でいろいろ試してみるのもいいかもしれない。常々力量不足を感じていた自分には考えさせられた日になった。

交流登山は私達とちば山しか参加しなかったが他の会の方々も参加していただけたら実際一緒に歩くことによって、今回の様に話ただけでは伝わらない沢山の発見があったのではないだろうか。

夕食前のひと時も忘れ難い楽しい時間となった。

1日目の後山林道、2日目の丹波天平も黄赤緑が美しい紅葉の爆発時期であった。今回の企画に感謝し、また次回を楽しみにさせていただきます。

ありがとうございました。く

奥多摩-三条の湯山行 報告

報告者 尾崎 悟史 (ちば山の会)



【三条の湯前で集合写真】

【山城】山梨県、奥多摩

【場所】三条の湯

【行動日】平成 30 年 11 月 3 日～4 日

【参加者】C L 鶴田、S L 菅井、寺崎、尾崎、こまくさハイキングクラブ 3 名

【行程】 11/3 11:05 鴨沢西 BS-11:25 お祭り登山口-13:50 後山林道終点-14:40
三条の湯 (泊)

11/4 6:50 三条の湯-9:15 サヲウラ峠-13:00 親川 BS

【内容】

今回は千葉県連の交流山行ということで奥多摩三条の湯に行ってきました。出発当日の朝、テレビでは「奥多摩の標高 1000m 付近が紅葉の見頃を迎えています。」とアナウンスが流れ、言わずもがな紅葉狩りへの期待がグッと膨らんでいました。午前 8 時、メンバーが新宿駅のホームで顔合わせを済ませ、最後に他会の F 会長が合流。F さんはとてもグルメなお方で「美味しそうな店が沢山あるからよ。」と出発前に駅で美味しそうな物を沢山買込まれていました。



【出発の鴨沢西 BS】



【お祭り登山口】

しばらくして新宿駅発「ホリデー快速あきがわ・おくたま」に乗車。このホリデー快速は拝島駅を起点とし青梅線と五日市線に接続し、新宿から乗り換えなしで奥多摩駅に到着することが出来ます。到着して間もなく、予定より1つ前のバスが出発するという。「善は急げ。」と鴨沢西 BS 行きのバスに慌ただしく乗り込み、出発。バスに揺られること約40分、終点に到着する。

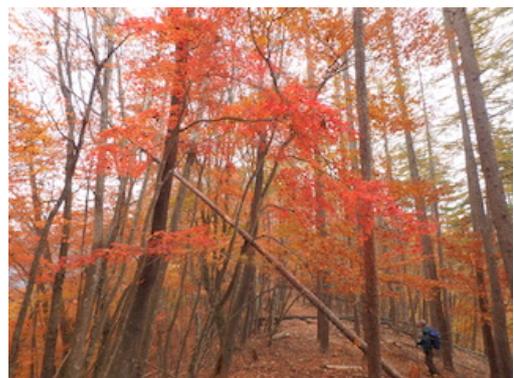
今回はこの鴨沢西 BS を出発地として、11:25、歩き始めました。

青梅街道の車道からは紅葉で色付き始めた奥多摩の溪谷が晴天の日光に照らされて美しく瞬いている。休業しているお祭り山荘のすぐ横に「お祭り登山口」があり、ここから本格的な登山が開始される。と思いきや、お祭り登山口からの道からは車が一台ほどゆうに通れる幅員の広い林道となる。紅葉で色づく奥多摩の溪谷を横目に見ながら、13:50、ようやく後山林道の終点に辿り着く。ここからは本格的な登山道となるが、アップダウンは比較的穏やかで、登山道の補習もしっかりされており、歩きにくい箇所は全くなく、紅葉真っ盛りの中、気持ち良いハイクを楽しむことができた。もう少しこの気持ち良いハイクを楽しみたいと思っていたも束の間、林道を抜けてから約30分後、三条の湯テント場に到着。

三条の湯は雲取山山麓の沢の中にひっそりと佇むとても趣のある山小屋で、素晴らしい入浴も楽しむことが出来る。夕食前にメンバー全員で宴会を行い、その後、山小屋での美味しい夕食に舌鼓を打ちつつ、18:30に就寝。5:00に起床し、無事準備を済ませた一行は、6:50に三条の湯を出発。本日のメイン「天平(でんでい)尾根」を目指す。ピークを迎えた紅葉が凄まじい遮光の朝日に照らされ、金色のように光っている。地面には登山道を覆い隠す程の落ち葉が広がっており、歩く旅に「ざー、ざー」と音を立てる。誰もいない静寂の中、落ち葉の擦れる音に Te さんも思わず「良い音ね。」と一言。山は秋の一幕の情緒を私達に感じさせてくれました。



【紅葉とSさん】



【大きなもみじが立派】

出発してから2時間経つと飛龍山への分岐となる「サヲウラ峠(サオラ峠)」に到着。ここでしばしのコーヒブレイクをする。山で頂くコーヒもまた格別で、山とコーヒとSさんの心遣いに感謝。

サヲウラ峠から続く天平尾根もまた素晴らしい尾根で、Tuさんが「一番好きな道。」というのも納得。東側斜面は紅葉で真っ赤に彩られ、白樺やブナ、ミズナラなど樹木も豊富、一つの登山道で様々な風景と植生を楽しむことが出来、そこは自然の中にひっそりと佇む極楽のようだった。メンバーは「ここで自給自足の隠遁生活も悪くないね。どう？」と本気なのか、冗談なのか、それでも本気に聞こえてしまう程、うっとりとしてしまう情景がその尾根には広がっていた。



【落ち葉の上を歩く】



【いくつもの沢を越える】



【歩きやすい天平尾根】

尾根の最終地点では集落の跡地がある。今でも電線や水道管の跡があり、数十年前にはこの土地にも人が住んでいたと気づかせてくれて、昔この土地に暮らしていた人達に思いを馳せた。それら集落跡地を抜けるとゴールの親川BSに到着。

今回は経験豊富なTuさん、Sさん、Teさんのお陰で山のまた新しい楽しみ方を教えて頂きました。他会の方々にも美味しいお酒やおつまみを頂き、終始紅葉も素晴らしく、最高の週末を過ごすことができました。ありがとうございました。

以上

トビ岩山（富津市 190m）

君津ケルン山の会 神田武治



◆ 2018年10月10日～11日

トビ岩山は上総湊で東京湾にそそぐ湊川の支流相川の左岸にあり、192.8mの三角点峰から東に延びる尾根上に盛り上がった岩峰である。南面が切れ落ちた岩で北面は樹林におおわれている。そのため人里からそれと見分けるのは難しい。

梨沢公民館の広場に駐車させてもらって南へ下り梨沢橋を渡るとT字路、左は「七ツ釜溪谷」や「房総アルプス」ここは右へ、人家が途切れるあたりで右の林道へ入る。登りついた所で北の尾根へ入っていく。（入口は少し手前、直進の下りは白虎の集落へ至る）椎などの巨木が所どころある中、ピークを一つ越えると228mの三角点峰。

ここはその昔「いざ鎌倉」の折、のろしを上げて危急を里見方へ告げた所と言われている。

ここからは右に左に尾根を分かち、アップダウンを繰り返してトビ岩の下へ至る。最後は木の根やロープにつかまりながら20m位の直登。登りついた左がトビ岩山である。南面は手すりも何もない崖なので、まず足場をしっかりと確保してから、頭をゆっくり回してみよう。眼の前に鋸山、嵯峨山、左へ高宕山、鹿野山、東京湾、少し手前に東京湾観音が仮設足場に囲まれて化粧直し中。360度の絶景が広がる。

西へ10分も行くと南面の岩にかすかに凹凸があって、仏様のお顔が浮かび上がる。さらに岩をくりぬいた中に小さな仏像が安置されている。

北へ少し下ると林道で、今は朽ちてしまっている牧場跡。15分位で一般道へさらに20分位で梨沢公民館である。（ゆっくり一周して4時間くらい、）

4月石巻へ行った折、房総の山を歩こうということになり、今回のトビ岩山山行となった。前夜保田小学校、道の駅でゆっくりしての山行。ふわくハイキングサークル4名と君津ケルン山の会3名での楽しい交流山行であった。

海を渡ってきた人々は海辺で生活しているうち人口が増えるに伴って、川をさかのぼり上流域で集落を作り、山の幸を求め房総の山々を歩き回った。あちこちに仏像や石碑、高いところには祠が祭られている。自然を恐れ、自然を崇めていたのであろう。

房総の山は変化に富んで楽しい。しかし楽しい反面道迷いや転滑落の危険は常に伏在している。遭難事故が年々増加していることを思うにつけ、我々は昔の人のように自然を恐れ、敬う気持で山に、自然に向かうべきではなからうか。

須坂市:米子大瀑布 と 信越トレイル(Section4) 仏ヶ峰登山口～関田峠 縦走

山内 英晴 (ちば山の会)

【山 域】 須坂、関田山脈

【場 所】 須坂市、

戸狩温泉スキー場上部・関田山脈

【行動日】 10月27日(土)～28日(日)

【参加者】 CL 菊池典雄 SL 菅井修 池田継雄 小俣順子 杉山喜代枝 山内英晴(記録)

【行動】 一日目:二条の名瀑と紅葉、 二日目:素晴らしいブナ林と紅葉の取り合わせ。
それぞれ堪能した二日間でした。

◇10月27日(土) 〈米子大瀑布トレッキングコース 1300m～1430m〉

千葉4:30発(車2台) → (関越自動車道・上信越自動車) → 須坂長野東IC 8:00
→ 須坂市街地 → 米子大瀑布駐車場 10:00着 → 米子不動尊(奥之院) 10:30 →
米子大瀑布 10:40 → トレッキングコース1周 → 米子大瀑布駐車場 12:30 → 須
坂市街地 → 小布施町 → 馬曲温泉(木島平) 16:00着

◇10月28日(日) 〈仏ヶ峰1140m～鍋倉山1289m～黒倉山1242m～関田峠830m〉

馬曲温泉 5:50発(車2台) → 戸狩温泉スキー場(車1台デポ) ⇔ 関田峠(車1台デポ)
→ 戸狩温泉スキー場上部(とん平) 8:30 → 仏ヶ峰登山口 8:40 → 仏ヶ峰 9:00
→ 小沢峠 9:40 → 鍋倉山 13:00 → 黒倉山 13:30 → 関田峠 14:20

【内容】

◇10月27日(土) 雨のち晴れ曇り、霧

天空から流れ落ちる二条の滝(米子大瀑布)と紅葉とのコラボレーションが素晴らしい一日
でした。



千葉4:30 雨の中を出発して関越道を走っていると6:20頃、川越IC手前に差し掛かると突然渋滞になり徐行運転していると、中央分離帯に車のタイヤ、金属破片などがばらまかれているのを見ながら進むと人が2人立っていて何事か?と聞いていたら 車が大破、エン

ジンから火が出て燃え上がっているのかかわらず救急車、消防車、パトカーがないので事故が起きた直後で通行止めにはなっていないのでそこを過ぎると渋滞が解消で一路、須坂長野東ICへ。もう少し遅かったら通行止めで時間が読めず計画が狂うところではあった。また天気予報では東日本はほぼ一日中雨、15時頃から曇りの予報であったが8時頃に佐久、小諸を過ぎると雲間から青空がのぞき須坂長野ICをでて降りたときは晴天で行先良いスタートとなった。

信州須坂市内を通り抜け、米子大瀑布駐車場（海拔1300m）までおよそ40分走りそこに車を止め、徒歩で約30分山道を登り詰めると「米子不動尊奥之院」に到着。この不動尊は千葉県成田の不動尊と並び日本三大不動尊の一つと言われ上杉謙信のゆかりの寺とのこと。

裏手の美しい溪谷と紅葉の樹木を見つめながら

10分ほど登ると 不動滝：落差85m（海拔1450m）が現れしばらく滝の流れと周囲の太陽の光が当たる紅葉の美しさを見ながらさらに奥に道を進む事15分ほどで今度はまるで兄弟のような権現滝：落差80mが見られここでもしばし木陰から望む紅や黄色に染まった紅葉と滝は何とも言われない世界でした。滝の流れを惜しみつつ対岸に通じる魅惑のトレッキングコースに進むこと1時間くらいで米子大瀑布群を正面に望む大地（米子鉦山跡地）からはるか来た方向にみえる、深山幽谷に落ちる壮大な二条の滝と周囲の紅葉の取り合わせに我を忘れるほどに堪能しました。



ここは2016年NHK大河ドラマ「真田丸」のオープニング映像ロケ地で国指定名勝「米子大瀑布群」のとのことでした。

この後は急に雲が湧き出し、霧もかかきだしてきて天気が変わってきたが、もう一度晴れることを期待して、江戸時代から昭和35年まで硫黄産出していたといわれる米子鉦山跡地を見学等して晴れそうもないので下山を開始して駐車場に戻り、再び須坂市内、小布施町を通り抜け、本日の泊りの馬曲温泉に早めに入り、温泉、食事とゆったりとした時間を過ごしました。

◇10月28日（日） 晴れのち薄曇り

本日の全行程がブナ林の中で、周りの紅葉とのコラボレーションが素晴らしい一日でした。



2台の車を別々にデポするため馬曲温泉を5:50に出発して1台を下山口に、もう一台を登山口に回して8:30 いよいよ今回目的とする本番の「信越トレイルSection4」の開始地点、戸狩温泉スキー場上部ゲレンデを横切り登ると仏ヶ峰登山口の標識があり歩き出す。

天気は日本晴れ？すでに周りを見渡す限りブナ林が広がり、周りの紅、黄色、その他の色とりどりに染まった紅葉との取り合わせに早くも本日の山行の期待が高まる。

はるか遠くを見渡せば、遠く雲海上に高社山や志賀高原、斑尾高原、木島平の山並みの幻想的な景色が見られ全員が大興奮の様子。ここからは太くて背の高いブナ林が見られて、その中を進むと眺望の良い尾根に出て、ここからは尾根伝いに歩き、ところどころで雪の重さや、

風の吹く向きでいろいろな形のブナが見られる。

ブナの美しい林や飯山盆地を眼下に見ながら歩き、アップダウンを 4,5 回繰り返して小沢峠についた。トレイルの進行方向の左側が新潟県で右側が長野県の県境を歩くのでまさに左右に両県の景色を眼下に楽しませてくれる。さらに進むと樹齢何年か？優に 100 年前後は経つであろう紅葉に染まった色とりどりのブナが整然と並んで我々を迎えてくれてなんとも言われない別天地の様子。



ここからは鍋倉山まで痩せ尾根の連続だがブナもまた形が違ってブナの形の変化が面白い。鍋倉山の山頂まで最後の登りが少々きついが、山頂から妙高山、火打山や悠然と飯山盆地を流れる千曲川を見渡し、反対側には新潟県の日本海が見られるのだが、ほんのりとかなたには雲が出ていてハッキリとは見られないのが残念。

あとすぐ目の前に 15 分ほどで黒倉山山頂につきここからは開田峠までは下りのみであるがこれまた紅葉にはえるブナ林の連続である。一日を通していけども行けどもブナ、ブナの林か森？大雪の重さに耐えたのか根元が大きく曲がったブナの大木や細身のブナなどなど、それぞれの標高差と雪の積もりぐあいや重量と県境の風向きによるいろいろな姿をしたブナの林、森と紅葉の取り合わせが下山まで見られ大満足の一日になりました。



第35回 房総ロングハイキング募集

主催 千葉県勤労者山岳連盟ハイキング委員会

日時 2019年1月26(土)～01月27(日) 一泊二日 (当日参加可)

集合 七里川温泉：沖津屋 26(土) なるべく 16時30分迄に集合
27(日) 当日参加 7時30分集合

君津市黄和田畑 921-1 電話 0439-39-3211 フリーダイヤル 0120-397428

27日コース 七里川温泉 8:00 車移動＝清澄寺駐車場 9:00/20 出発～一杯水林道分岐～W0(ツクバネ
樫目印) 入口～(東大演習林) 大平歩道入口地点～W15：烏帽子山々頂～W33：硯石分岐
～向峯林道～鶏毛山W45～民地～坂本駐車場ゴール 14:30 着
歩程約5時間30分(休憩1時間30分含む)

25,000/1 地図 「上総中野」「安房小湊」

募集人員 60名位 少々の雨天決行：大荒の場合は中止
費用 6,000円(一泊二食と弁当、移動) 当日参加1,000円(弁当、移動、)
締切 12月27(木) 各会責任者へ申し込む

直接電車で参加の方

電車時刻(往) JR久留里線 木更津発 13:01 上総亀山着 14:08
々 15:48 々 16:54

上記着の時刻に合わせて送迎車が出ます。時刻に変更有注意

自家用車：直接七里川温泉に来て下さい。スペース5台位(出来ればJRでお願いします)

行動予定

01月26(土)	16:30～	受付開始
	17:30～	挨拶、ガイダンス(日程、コース説明)
	18:30～	夕食、交流会後就眠
01月27(日)	7:00	起床、掃除、支度
	7:30	朝食(弁当を受け取る)(食事は自由)
	8:00	車で移動(当日参加者は時間厳守) 清澄寺駐車場
	14:30	坂本駐車場着(JR、車の方は宿のバスで送る)

電車時刻(復) 安房天津駅 15:00 発：千葉 16:50 着 時刻に変更有注意
安房天津駅 16:21 発：千葉 17:42 着 18:03 発：千葉 19:53 着

尚、東葛地区(東葛、松戸、柏、我孫子)はバス利用して、前日軽登山してから
集合地(七里川温泉)に行く事にしました。11,000円(バス代、1泊2食 弁当、)

行先 養老溪谷界限散策(手彫りトンネル歩行、チバニアン見学など)

二日目 合同山行

※各会纏めて、申し込み先 ハイキング委員長 松戸山の会 桑原年一 まで
申し込み問合せ連絡先 ふわくハイキングサークル 実行委員長 田中 康男
(TEL/FAX 0436-25-0109)

オーストラリア最高峰『コジオスコ山2228m』登頂と 世界遺産『ブルーマウンテンズ』ハイキング 8日間

千葉県勤労者山岳連盟 海外委員会

世界七大陸最高峰の一つともされるオーストラリア最高峰『コジオスコ山2228m』を、山麓の村スレドボよりリフト(約15分)で登山口『イーグルズ・ネスト1930m』まで上がり、整備された標高差約300mのトレイルを、雄大な景色を堪能しながら往復します。更に、世界遺産『ブルーマウンテンズ国立公園』で奇岩『スリーシスターズ』を眺めた後、ユーカリの原生林やツリーフェーン(木生シダ)の繁る温帯雨林の中のトレイルを楽しみます。地底湖とクリスタル、ブルーレイクが魅力の世界最古の鍾乳洞『ジェノラン・ケーブ』も探検します。

<期 日> 2019年3月8日(金)～15日(金)

<費 用> 約42万円

(目安)

航空券往復、ホテル、チャーターバス、観光、全食事(機内食含む)、成田空港利用料、国際観光旅客税、出国税、空港税、燃油サーチャージ、ETAS申請代行料(オーストラリア・ビザの代わり)

(コジオスコ山頂)



<登山コース> スレドボ村(リフト)→『イーグルズ・ネスト1930m～コジオスコ山頂』往復(約13km)

<募集人数> 16名 (原則先着順)

<申込方法> 1)参加希望者は、申込先(安彦)まで『参加申込書』をメールにて請求してください。メールには、必ず、『氏名』、『所属会名』、『携帯電話番号』等を記入願います。
2)申込みのメールが届きましたら、『コジオスコ山登山参加申込書』をお送りします。
3)『コジオスコ山登山参加申込書』に必要事項を記入し、申込先まで返信ください。その際に、『パスポート(写真のある見開き2ページ)』のコピーも添付願います。

<申込締切> 2018年12月19日(水) (スリーシスターズ)

<問合せ・申込先> 安彦秀夫(あびこひでお) 東葛山の会
E-メール: mt25hm4abichan49@gmail.com
携帯電話: 090-5827-0571



<日程> 詳細日程・費用は、参加者確定後、改めて旅行会社と調整します。

<食事>

日時	行 程 (→:飛行機、⇒:専用車/チャーターバス)	宿泊	朝/昼/夕
①3/8(金)	14:30 成田空港第2旅客ターミナル3階 キャセイ航空カウンター付近集合 成田空港16:30(CX521)→香港21:05<乗継>23:55(CX101)→	(機内)	-/-/機
②3/9(土) 移動・観光	→シドニー・キングスフォード・スミス空港12:00⇒シドニー市内観光 オペラハウス、ハーバーブリッジ、ストランド・アーケード、 セントメリーズ大聖堂など	(ホテル) シドニー	機/機/○
③3/10(日) ハイキング	シドニー⇒(専用車2～3時間)⇒ブルーマウンテンズ国立公園 ブルーマウンテンズ・ハイキング ユーカリの原生林やツリーフェーン(木生シダ)の温帯雨林の中の トレイルを楽しみます。 歩行時間:約5時間	(ホテル) 国立公園周辺	○/○/○
④3/11(月) 観光	ジェノランケーブ(鍾乳洞)観賞、ストロマトライト見学 世界最古の鍾乳洞群を探検します。 歩行時間:約5時間	(ホテル) 国立公園周辺	○/○/○
⑤3/12(火) 移動	ブルーマウンテンズ国立公園⇒(専用車5～6時間)⇒スレドボ	(ホテル) スレドボ	○/○/○
⑥3/13(水) 登山	スレドボ⇒(リフト約15分)⇒イーグルズ・ネスト1930m… …コジオスコ山2228m往復 歩行時間:約5時間/片道6.5km	(ホテル) スレドボ	○/○/○
⑦3/14(木) 移動・観光	スレドボ⇒(専用車5～6時間)⇒キャンベラ⇒シドニー シドニー・キングスフォード・スミス空港22:20(CX138)→	(機内)	○/○/○
⑧3/15(金)	→香港05:00<乗継>08:10(CX526)→成田空港13:10(通関後解散)	---	機/機/-

※航空機の予約状況によっては、羽田空港発着になる可能性もあります。

※現地では、専用車(20人乗り、日本語ガイド付)にトレーラー(スーツケース用)をけん引して移動します

※参加するかどうか迷っている方も、まずは参加希望の連絡をお願いします(飛行機の仮予約の都合)。

※『ストロマトライト』:シアノバクテリア。27億年前に誕生し、地球で最初に光合成を行い酵素を作り出した生物。

海外委員会だより

1) 新メンバーでの海外委員会開催

11月10日（土）～11日（日）に開催された『事故防止経験交流集会』の2日目に、3名（廣木、荒井、安彦）で、初めての委員会を開催しました。

県連加盟の各会（会員）に対しての『海外登山情報』の発信や、各会（会員）からの問合せ先として海外委員会が窓口として活動すること等を確認しました。

まずは、最近5年間で、各会が実施しました海外登山（ハイキング/トレッキング、登攀、高所登山、スキーなど）の報告を、海外委員会までお寄せいただきたいと思います。お寄せいただきました情報や独自の調査（インターネット、文献など）を纏め、問い合わせの際の回答（発信）に繋げていきたいと考えています。

また、海外登山のハードルが高く一歩が踏み出せないと思っている会員や、知らない人と一緒のツアーには参加できない…等と考えている会員の皆様に、『県連の仲間と一緒に楽しむ海外登山』を、年に1～2回、企画・提案していきたくと考えています。

2019年予定：①オーストラリア（別紙案内参照）、②中国：大姑娘山（7月）

2) 海外登山活動に関するアンケート調査集計結果配信！

県連加盟17会130名（男性60名、女性70名）の皆様から回答をいただきました『海外登山活動に関するアンケート調査』の集計結果を、10月29日（月）に、各会の代表者及び理事の皆さんにメールで配信しました。

既に、各会において、会の皆さんにも配信され目を通しておられることと思います。是非、この集計結果を各会での海外登山に活用していただきたいと思います。

併せて、集計結果に対するご意見を是非お寄せいただきますようお願いいたします。

3) タイ「チェンダオ山」山行に、23名が11月28日出発

11月28日（水）に、県連加盟の9会23名が、タイで最も美しいと言われる石灰岩でできた『チェンダオ山』登山とタイ最高峰『インタノン山』山頂周辺のトレッキング、世界遺産『アユタヤ』や首都バンコクの観光へ成田空港より出発しました。

登山報告を、1月号又は2月号に掲載予定です。乞うご期待！ また、参加者が撮りましたスナップ写真を見ながらの交流会を開催したいと考えています。

『海外委員会』へのご意見・ご質問・ご報告等をお待ちしております。

<宛先> 安彦秀夫（東葛山の会）E-メール：mt25hm4abichan49@gmail.com

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

◎ 県連盟事務所

〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL・FAX： 043-306-1190

Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分

（県連事務所に常駐者はいません）

ご意見・問い合わせは、下記をお願いします。

- ・千葉県連ホームページ：

事務局への問い合わせ

- ・又は：dabphiro@zpost.plala.or.jp

◎ 会員の事故一報送付先

Eメール：教遭委員長・伊東 春正

：itou2385@yahoo.co.jp

FAX：教遭副委員長・広川 登志男

：0438-36-7219

全国連盟事務局にも必ず送付する事

Eメール：jwaf@jwaf.jp

FAX：03-3235-4324

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座

00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎ 「ちばニュース」

- ・原稿送付先

- ・ご意見・問い合わせは

発行責任者：広木 国昭まで

dabphiro@zpost.plala.or.jp

◎ 千葉県連の支援活動について

支援活動は、各会で計画・実施

をお願いします。従来どおり、

高速代・宿泊費補助をします。

（事前に一報をお願いします）

◎ 支援海産物販売のお知らせ

夏場は休んでいましたが涼しく

なったので開始しています。

問合せは：広木まで

出来る時に

出来る人が

出来る事を

danphiro@zpost.plala.or.jp まで

【編集後記】

- ・12月号は、山行報告の投稿が多く山の会の機関誌らしい内容になりました。各会の山行、個人山行、仲間との山行など簡単で結構です。

- ・ワードで A4・2ページ位、明朝 12m、余白は全て25m

特別な加工はしないで結構です。

- ・写真を2・3枚 付けていただければ助かります。（無くても結構です）

- ・投稿先：県連広木まで：danphiro@zpost.plala.or.jp

- ・11月23日（金）24日（土）に「全国登山研究集会」が開催された。

千葉県連から、4名の参加者と役員として4名の参加があった。

安全登山・会員拡大・労山の理念・趣意書などについて熱心な討議が行われた。

詳細な報告は次号に予定しています。

- ・年末・年始の山行は、計画書づくりから慎重に取り組んで下さい。

全国的に、事故が増加しています。軽度の事故も起こさないで下さい。

千葉県連からは、絶対に死亡事故を出さないで下さい。

県 連 活 動 予 定 表

1		行事予定	12	行事予定
1	火		1	土 ワンコイン講習会(西部公民館)
2	水		2	日
3	木		3	月 県連役員会
4	金		4	火
5	土		5	水
6	日		6	木 全国組織部
7	月 県連役員会		7	金 全国望年会
8	火		8	土
9	水		9	日
10	木		10	月
11	金		11	火 全国役員会
12	土		12	水
13	日		13	木
14	月		14	金 機関誌委員会
15	火 全国役員会		15	土
16	水		16	日
17	木 県連理事会		17	月 教遭委員会
18	金		18	火
19	土		19	水
20	日		20	木 県連理事会・全国理事会
21	月		21	金
22	火		22	土
23	水		23	日
24	木 全国理事会		24	月
25	金		25	火
26	土 房総ロングハイク		26	水
27	日 (七里川温泉泊)		27	木
28	月		28	金
29	火		29	土
30	水		30	日
31	木		31	月

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで